

## 人によろこばれたこと

大分県 武蔵東小学校      3年 有村 連空瑠

ぼくは、よくお母さんとお姉ちゃんといっしょに、お買い物に行きます。

ある日、お買い物が終わって帰ろうとしていたら、ガシャポンのところに百玉が落ちているのを見つけました。ぼくはお姉ちゃんに、

「早く店いんさんのところへ持っていこう。」

と言ったら、

「うん。持っていこう。」

と言って、すぐ店いんさんに持っていきました。すると、店いんさんが、

「よく持ってきてくれたね。ありがとう。」

と言ってくれました。ぼくとお姉ちゃんは、うれしくなって心がポカポカしました。

それから何回か、お買い物のときに、お金の落とし物を見つけたことがあって、店いんさんにとどけにいった、「ありがとう」と言われました。

この間、テレビを見ていたら、「外国人が日本に来ておどろいたこと」という番組をやっていました。その中で多かったのが、落とし物が返ってくることが多いという話でした。おさいふやケータイが返ってきた人や、ある人は、大事にしているカメラをデパートのトイレにおきわすれて、何時間もたってからカメラがないことに気づいて、ないだろうなとあきらめてデパートに行くと、落とし物でとどけられていたそうです。その人の国では、落とし物をしたら返ってこないよ、と言っていました。

その人は、

「日本の人はすばらしいね。」

と言って、よろこんだそうです。

ぼくは、落とし物をとどけるのはあたりまえだと思います。落とし物をした人も、落とし物をとどけた人も、心がポカポカしてうれしい気持ちになるのだから、その人の国でも、落とし物を見つけたらとどけてあげられるような国になればいいなと思いました。